

# 令和2年度 自己評価報告書

令和3年3月  
学校法人 文化学園  
川口文化服装専門学校

# I 学校の現況

## (1) 学校名

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

## (2) 所在地

〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-5-33

## (3) 沿革

昭和23年5月	学校設置認可を得る。
昭和29年11月	学校法人文化学園となり、経営体系を公共的に組織に改め、施設設備を拡充。
昭和51年	専門学校として認可される。 新たに教育内容の充実向上をはかり、専門課程と高等課程を設置する。
昭和63年4月	高等課程が埼玉県立大宮中央高等学校の単位制による通信制の課程と技能連携。
昭和63年10月	高等課程が大学入学資格付与の指定を受ける。
平成元年	課程の名称を「服飾・家政高等課程服装科」、「服飾・家政専門課程服装科」に変更。 専門課程服装科に外国人留学生の受入れを始める。
平成6年3月	専門課程服装科修了者に対し、「専門士」の称号の付与を認められる。 (文科省告示第7号)
平成7年4月	服飾・家政専門課程に「服飾専攻科」(修業年限1年)を設置。 一般を対象とした「別科服装専科(社会人コース)」を設置。

## (4) 学科の構成

課程	学科	コース	修業年限	入学定員	総定員
高等課程	服装科	洋裁コース	3年	5名	75名
		高校併修コース		20名	
専門課程	服装科	洋裁コース	2年	35名	70名
	服飾専攻科	洋裁コース	1年	10名	10名

## Ⅱ 項目別の自己評価表(専門学校)

### 1.学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

### 2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①専門課程入学者の増加 ②学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

計画: ①SNS・WEB サイトを活用した広報活動

②近隣・周辺地域の学校とのつながりの強化

③新型コロナウイルス感染症の学内感染を防止する取組の強化

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色はあるか	4 3 ② 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 ② 1
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 ② 1

#### ①課題

新型コロナウイルス感染症の国内外での感染拡大に伴い、入学者の減少が著しい。特にこれまでも専門課程の留学生の割合が高いため、影響を大きく受けている。服飾業界自体への影響も多大なものとなっているが、その中でも職業人として求められるニーズに応えることのできる人材の育成を目指し、根本となる基礎技術の習得を基本に、本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

#### ②今後の改善方策

学生募集の方法や学校としての教育の方向性を見直していくことが求められる。従来の方針を活かしつつ、時代のニーズに沿った教育方法を模索し、導入していく必要がある。

#### ③特記事項

今年度は行事等の規模縮小が多く、学生たちの授業成果や学内の様子を外部に発信する機会が減少してしまったため、SNS・WEB の更なる活用に取り組みたい。

## (2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	②	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	②	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	②	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	②	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	②	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	②	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	②	1

### ①課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営に伴う規則の明確化

### ②今後の改善方策

意思決定過程については手法の工夫により今後も改善を重ねていく必要がある。運営に伴う規則についても明示可能なかたちにするために検討していく必要がある。

### ③特記事項

内外に対する開示が不十分な情報に関しての開示方法の検討が必要である。

## (3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	②	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	②	1

・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	②	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	②	1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	②	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	②	1

#### ①課題

外部からの評価体制が不十分な部分があるので、教職員の更なる資質向上のためにも検討が必要となる。また、授業体系的に実習が大半を占める関係で、コロナ禍での休校の時期が授業時間の確保に影響を与えた。

#### ②今後の改善方策

今年度は、休校に伴い不足した授業時間を1・2学期中の1日の授業時間を延長することで対応した。また、休校期間中は座学の内容について SNS を活用して生徒に自宅学習をさせたので、今後の情勢によってよりよい学習環境を提供できるように検討をしていく。

#### ③特記事項

資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取組んでいる。

#### (4)学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	②	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	②	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	②	1

・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	②	1
---	---	---	---	---

①課題

コロナ禍に伴い、卒業生の就職率の低減がみられた。

②今後の改善方策

学校側からの求人の紹介および就職活動に関しての学校としての更なる支援体制の形成が求められる。

③特記事項

退学者の割合は昨年度より減少しているが、連絡不能となり、やむなく除籍扱いとなる学生をゼロにするには至らなかった。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	②	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	②	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	②	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	②	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	②	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	②	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	②	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	①
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	②	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

①課題

コロナ禍の影響により、アルバイトが十分にできず、授業料等学費の支払いが滞る学生が少なくない。

②今後の改善方策

経済的な理由により、学生が学業に専念できなくなることがないように、国からの給付金等の申請手続きや支援体制のバックアップは迅速に実施したい。また、学費の分割払いや延納などの個別の学生の支払い状況管理も徹底していきたい。

### ③特記事項

今年度は新型コロナウイルス感染症に伴う学生支援の給付金や高等教育の修学支援新制度といった経済支援の公的な体制を活用することはできた。しかし、特に新入生で入学時の納付金の支払いが難しい学生が少なくなかった。

### (6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 ①
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 ①
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

#### ①課題

設備の老朽化

#### ②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

#### ③特記事項

老朽化・故障した設備については、都度修理・点検をしている。

### (7)学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 ② 1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 ② 1

#### ①課題

コロナ禍のため、直接対面しない状態で学校の情報を中学・高校・日本語学校に提供することに取り組んだ。学生、留学生問わず情報を公開できるかたちでの実現方法については、さらに検討が必要となる。電話やFAX、メール、SNS、郵送などの手段を中心に学生募集を行った。

## ②今後の改善方策

募集対象の地域的拡大。学生全体における日本人学生数の割合の増加。

## ③特記事項

コロナ禍の影響で、留学生の入学生が大幅に減少した。今後の入学生の募集形態を見直していく必要がある。

## (8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 ② 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 ② 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 ② 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

## ①課題

収支計画の見通しを明確にする。

## ②今後の改善方策

支出内容の見直し。

## ③特記事項

## (9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 ② 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 ② 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・ 自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

## ①課題

自己評価結果をもとにした改善に時間を要している。



②今後の改善方策

学校関係者評価による公正・透明な評価方法も早期に実施する。

③特記事項

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 ①
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の学生も多い。

②今後の改善方策

学生に無理な負担のかからない範囲で、ボランティア情報などの紹介を充実させるべく努める。

近隣地域に学校のことを知っていただくきっかけにつなげていきたい。

③特記事項

(11)国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 ② 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 ② 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 ①

①課題

留学生入学者の大幅な減少。学費支払い状況の遅延。

## ②今後の改善方策

授業や日常生活での関わりを通して留学生とのコミュニケーションを積極的にとることで生活面についても注意して見守ることができるようにする。コロナ禍でアルバイトが十分にできず、学費の支払いの遅れが目立った。給付金等を活用して、留学生が学業を継続できる支援に取り組んだ。

## ③特記事項

# 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学生募集・広報活動が難航し、入学生の増加につなげられなかった。これまで留学生の割合が高く、今回の新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。今後日本学生を中心に学生数を増加させるよう努めたい。学校としての今後の方向性を検討していく必要がある。

## 項目別の自己評価表(高等専修学校)

### 1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①高等課程入学者の増加 ②学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

計画: ①SNS・WEB サイトを活用した広報活動

②近隣・周辺地域の学校とのつながりの強化

③新型コロナウイルス感染症の学内感染を防止する取組の強化

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
・学校における職業教育の特色はあるか	4	3	②	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	②	1
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	②	1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	②	1

#### ①課題

入学者の減少が続いている。服飾業界自体への影響も多大なものとなっているが、その中でも職業人として求められるニーズに応えることのできる人材の育成を目指し、根本となる基礎技術の習得を基本に、本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

#### ②今後の改善方策

学生募集の方法や学校としての教育の方向性を見直していくことが求められる。従来の方針を活かしつつ、時代のニーズに沿った教育方法を模索し、導入していく必要がある。

#### ③特記事項

今年度は行事等の規模縮小が多く、学生たちの授業成果や学内の様子を外部に発信する機会が減少してしまったため、SNS・WEBの更なる活用に取り組みたい。

## 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 ② 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 ② 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 ② 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

### ①課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営に伴う規則の明確化

### ②今後の改善方策

意思決定過程については前年度に引き続き手法の見直しを継続して行っていく必要がある。運営に伴う規則についても明示的なかたちにするために検討していく必要がある。

### ③特記事項

内外に対する開示が不十分な情報に関しての開示方法の検討が必要である。

## (2)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 ② 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 ② 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 ② 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 ② 1

・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	②	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	②	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	②	1

#### ①課題

授業体系的に実習が大半を占める関係で、コロナ禍での休校の時期が授業時間の確保に影響を与えた。教員の資質向上に向けた環境整備を検討する必要がある。

#### ②今後の改善方策

今年度は、不足した授業時間については1・2学期の1日あたりの授業時間の延長により対応した。教員の工夫により、SNSや別教材にて休校期間中の自宅学習を実施したが、オンライン環境の整備が求められる。

#### ③特記事項

資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取り組んでいる。

#### (4)生徒指導等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・基本的生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	②	1
・生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4	3	②	1
・生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	③	2	1
・進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	②	1

①課題

生徒の意向を尊重しながら、学校として生徒の将来に有益な指導をすることが課題である。高卒での就職希望者の進路決定に難航した。

②今後の改善方策

生徒の意思決定の助けとなるような就職・進学情報の提供を、より一層充実させる必要がある。

③特記事項

欠席が続く生徒などを中心に、教員が個別で対応をしている。

(5) 特別活動等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・保護者会等と連携した活動を推進しているか	4 3 2 ①

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

クラブ活動は当校独自では実施していないが、連携校にて実施されている。今年度は、コロナ禍で課外活動も制限されていたが、来年度は安全を確保できる形態での実施方法を検討していく必要がある。保護者との連絡は個別的かつ緊密に行っている。

(6) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進学率や就職率の向上が図られているか	4 3 ② 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 ② 1

### ①課題

コロナ禍に伴い、卒業生の就職率の低減がみられた。

### ②今後の改善方策

学校側からの求人の紹介および就職活動に関しての学校としての更なる支援体制の形成が求められる。

### ③特記事項

退学者はゼロという結果となった。資格取得については、教員の熱心な指導もあり学生たちも積極的に挑戦している。

## (7)生徒支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 ② 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・ 生徒の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・ 保護者と適切に連携しているか	4 3 ② 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 ② 1
・ 専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

### ①課題

今後も続くであろうコロナ禍での就学に伴い、環境を日々整えていく必要がある。就職希望者の進路実現に難航した。

### ②今後の改善方策

長期的なビジョンを持ちやすいよう、キャリア教育をよりいっそう工夫する必要がある。保護者と連携しながら、進路実現に向けての準備支援に力を入れていく必要がある。

### ③特記事項

公的な支援が充実し、保護者の経済的な負担は非常に少なく済むようになった。少人数制を活用し、生徒一人ひとりの保護者との連絡をとりやすい体制となっている

(8) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 ①
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 ①
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

幼稚園と合同の防災訓練を実施した。

(9) 生徒の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・生徒募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 ② 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 ② 1

①課題

生徒募集の対応の迅速化。

②今後の改善方策

コロナ禍で学校訪問の実施が不足していた。SNS・オンラインを活用しつつ、現場に目を向けた学生募集に取り組む必要がある。

③特記事項

生徒数の減少に伴い、今後の学納金の見直しを実施する予定である。



## (10) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 ② 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 ② 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 ② 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

### ①課題

財政情報の公開が急務である。

### ②今後の改善方策

財務書類の準備および公開体制の整備の迅速化が必要である。

### ③特記事項

## (11) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 ② 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 ② 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・ 自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

### ①課題

自己評価結果に伴う教職員間での確認・反省が不足していた。

### ②今後の改善方策

教職員間での自己評価結果の回覧や、ホームページ上で掲載内容をよく確認してもらうようにアナウンスを徹底する。

### ③特記事項

## (12) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 ①
・ 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

### ①課題

ボランティアなどは、情報告知はしているが、生徒が積極的に参加するには至っていない。

### ②今後の改善方策

生活指導の一環として社会貢献活動の意義などを説いていく。

### ③特記事項

地域社会への貢献として、社会人コースが非常に好評である。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

これまで高等課程の生徒は市内の中学から進学してくる割合が高かったが、他市の中学生が調べてオープンキャンパスに参加し、入学に至るといった動きがみられた。今後のさらなる学生増加に向けて努めたい。個々の学生の希望進路を実現するため、就職・進学を問わず将来的な支えとなるようなキャリア観を育成すべく、サポート体制を引き続き検討していく必要がある。地域の区別なく、広く当行に関心を持ってもらえる広報活動を実現していきたい。